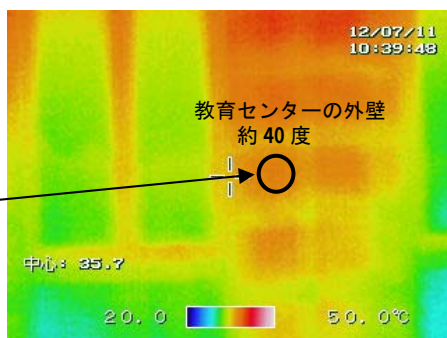
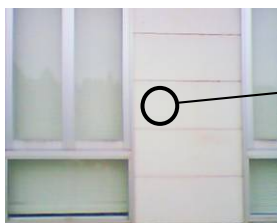


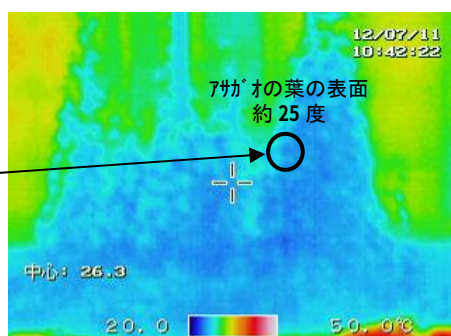
GALILEI

<緑のカーテンの効果>

普通の外壁



緑のカーテン



緑のカーテンをサーモカメラ*で撮影しました。外気は32度。緑のカーテンがない壁の温度は、35度～40度程度。一方、緑のカーテンの温度は、25度～30度程度。10度ほどの差があります。緑のカーテンは、日差しをさえぎる効果はもちろん、植物の葉の蒸散時に気化熱を奪い、周囲の温度をさげる効果があります。

(サーモカメラ撮影画像)

※サーモカメラについては、「プロジェクトK」をご覧ください。

この写真は、ぜひ「柏崎市情報教育支援システム」のインターネット(カラー版)でご覧ください。違いがよく分かります。

CONTENTS

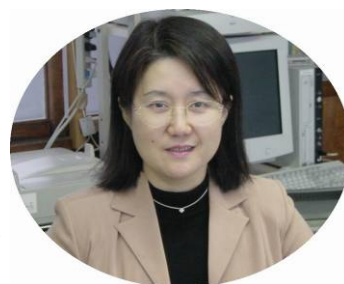
○今月の巻頭言	P 1
★心のオアシス	教育センター運営委員 枇杷島小学校養護教諭 布施 真理子
○教育センターだより	P 2
★アクセス(教育研究班)	P 2
★プロジェクト K(科学技術教育センター)	P 11
★心の窓(教育相談班)	P 15
○青少年育成センターだより	P 16
○9月の行事予定表	P 18
○所員随想「つれづれ」	P 18
★待つ	学校訪問相談員 春川 稔

平成24年8月号

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

心のオアシス

教育センター運営委員
柏崎市立枇杷島小学校
養護教諭 布施 真理子



「なんか、ここっていいんだよね」「心が落ち着くわ〜」「ここのにおいが好き〜」などと口々に話す子どもたち。古くは駆け込み寺、現在はコンビニ化などと言われている保健室ですが、入口から出口まで、さしずめ人間の体で言えば、口から排泄器官までのありとあらゆることに対応するのが養護教諭です。終わりのない心のケア、人間関係を築く能力の低下から起きる様々なトラブルへの対応、不登校や保健室登校、生活習慣病、どんどん増える食物アレルギー、虐待（ネグレクト）、性の問題行動等々健康問題は山積みになっています。

もうこれ以上大きな震災はないだろうと思った平成19年の中越沖地震。私は、市内でも一番被害の大きい地域の学校に勤務していました。グラウンドや校舎には、一般の避難者のほかに、自衛隊車両、マスコミ各社の中継車、全国からのボランティア、日赤医療チーム、C R Tが発令され心のケアチームの来校に加え、福祉避難所、臨時保育園、^{ようちん}揺籃学校（在籍児童預かり）としての場の提供等、とにかく人でごった返っていて、まるで戦場のような状態でした。また、最も必要な心のケアは、実際に1割も受けられない状態でした。ようやく避難所が落ち着くかと思われる頃、心ない人による爆弾予告電話があり、全員緊急集合して県警雪橇隊とペアを組んでの巡視、偽医者騒動、そして、天皇皇后両陛下の行幸啓と凄まじい2か月だったのを思い出します。

その当時、震災カウンセリングにかかわっていただいた、教育センターのカウンセラーから「子どもたちを元気にするのは、カウンセラーではなく、現場にいる先生方なんだよ。」という言葉いただき、どんなに自分が元気づけられ、心が温かくなったか。優しい一言で人は癒され元気になっていくことを私は身をもって体験しました。「一人でもいい、自分のことを支えてくれる仲間がいて、自分が存在していてよい空間（居場所）があれば、人は生きていける」、そんなことを強く感じました。

日々学校の中で起きる感染症やけが、事件等と対応しながら、子どもたちを支えることの使命感に燃え、私はこれからも健康教育を推進していきたいと思います。どの子も笑顔が輝いて、いきいきと学校生活が過ごせるように、陰になり日向になって教育の最終目標「自立」に向けて・・・。

教育研究班

アクセス

■ 実施講座を振り返って

図形はもちろんだけど、数式でも・・・

7/17(火)算数・数学デジタル教科書の使い方

小中学校の先生が合計30人ほど参加する会となりました。小学校算数でも中学校数学でも、一般的には図形分野での活用が推奨されています。たとえば一定の面積の中で道路を作る場所が変わるのに伴って面積がどう変わるのか、等の時ではデジタル教科書による提示はかなり効果あるという話題になりました。

一方、これに比べ計算領域は必要感は低いと言われていますが、前時の数式の復習をリズム感をもって行う等、有効な活用法もあるのでは？という意見も出されました。すべての時間で活用する必要はありません。これを使った方が子どもの理解が深まるだろう、と判断できる場面で積極的に使っていくことが大事である、という考え方でいってください。



模擬授業の様子から

栄養教諭と担任の見事なコラボレーション

7/19(木)食育授業講座Ⅱ

剣野小学校、渡邊郁子教諭と小嶋麗子栄養教諭のチームティーチングで行われたこの授業は、事前の十分な検討会が生きる、非常にすばらしい授業でした。T1の学級担任である渡邊郁子先生が授業の流れを作り、子どもから学ぶ必要感を引き出し、T2の小嶋麗子栄養教諭が専門的な部分を指導する、という理想的なパターンとなりました。

参加者の感想からは「小3に合った口調や速さでとても聞き取りやすかったです。指導案検討会の時におやつについてどの程度まで踏み込むべきか焦点になっていましたが、砂糖に焦点をおいたことでテーマに深く触れることができたと思います」「媒体も工夫されていて、学年の発達段階に合わせ、とても分かりやすいものになっていたと子どもたちの反応からも見て取れました」等、事前の検討会の成果が十分に発揮された研修会だったことがくみ取れます。



授業中の渡邊教諭と小嶋栄養教諭

どの子も住み慣れたまちでその人らしく生きる

7/25(金)特支教育における関係機関との連携Ⅰ

この日、訪問した施設は、「障がいのある人だけでなく、すべての人が住み慣れたまちで、その人らしい生活を送るためにみんなで助け合う、そんな温かい地域社会を創りたい」というコンセプトでつながっています。

その中のひとつ、生活介護事業「スペースあると」(旧曾田内科医院)では、一日の生活リズムを整え日常生活を豊かなものにする目的で機能訓練、社会適応訓練などを中心に活動が組まれていました。また、就労移行支援事業「キッチンぽてと」では、飲食販売の実際に従事することにより一般就労等への移行に向けて、事業者や企業での作業や実習、適正に合った職場探しや就労後の職場定着のための支援を行っていました。さら



市街地にあるキッチンぽてと事業所

に生活介護事業・就労継続支援B型事業「アトリエぽっけ」では、軽工業品の製作を通して、自立した日常生活または社会生活を営むことを目的に一人一人に合った継続して働く練習の場を提供していました。

案内して下さった社会福祉法人ロングランの理事長、西川紀子さんから、これまでの活動の経緯と周囲の理解の浸透をていねいに説明していただきました。知識としては、どの子ども地域で見守られながら育ててく、ということは理解していたつもりですが、実際にスタッフに囲まれての生活支援や就労支援の中での動き実地で研修することで、具体的にイメージすることができました。

参加された方々が、自身の研鑽を深めるだけでなく、学んだことを自校で共有することで、自校の特別支援教育への理解と、関係機関との連携の在り方についての考えも深まっていくと思います。

今の子どもの学びを充実させることが連携の基本！

8/1(水)幼保小の円滑な接続Ⅱ

鯨波小学校、長谷川宏之教諭を講師にお招きしてのこの講座では、まず、「幼保小連携の理論と実際」について講義をいただきました。長谷川先生は上教大大学院修士課程の研究成果として、アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムの具体的な事例を提示していただきました。また、幼保小で今やるべきことをしっかりとやることが連携の基本、とのお話もいただきました。その後の幼保小スマート入学プロジェクトに関する情報交換も活発に行われました。

参加者の感想には「長谷川先生の的を射た、しかもユーモアのあるお話が大変参考になりました。」「小学校へ入学する前にどの子ども共通して身に付けておかなければならないことがあり、そのために連携が必要なんだと痛感しました」「困っていることがあってもなかなか聞けずにいたので、このような連絡会はとても有意義です」等が数多くあり、今後、全ての学区で連携が深まっていくことが大いに期待できる講座となったことが伺えます。



講義を行う鯨波小学校 長谷川宏之教諭

実践からは、実に多くのことを学ぶことができます

8/2(木)特別支援学級経営の基礎・基本Ⅲ

4回シリーズの3回目となった今回は、進路指導、個別の指導計画に続く、「授業実践」でした。剣野小学校、田村雅彦教諭と、瑞穂中学校、鹿野文教諭から実践発表をしていただきました。お二人の実践からは「子どもを見る」「対応を考える」「校内の先生方と共通理解をする」「チームとして実践する」等のことを学び取ることができ、夏季休業後の指導に直接的に生かされていくと考えられます。

参加者の感想の中には「田村先生と鹿野先生の画像入りの実践を紹介していただき、今後、やることがわかってきました」「本当に知りたかったことをみんなで学び共通基盤にできた」等が数多くあり、具体的な学びになったことが伺えます。



発表者の田村雅彦教諭（右）と鹿野 文教諭

学ぶ必然性を感じさせること…

8/2(木)探究する力の育成

NPO法人東京コミュニティースクールの市川力校長先生のこの講座では、魅力的な授業作りを行う上で大切な、「単元を通してどんな力を、どういう順で身に付けさせていけばよいのか」「すべての子どもにとって魅力的な単元構想」についてのヒントをふんだんにいただきました。「教える」のではなく、「子どもが自ら気付いていく」学習過程や学びの最終段階に自分の言葉で思いを伝える場（＝スピーク イン パブブリック）の大切さについても、触れていただきました。子どもの学びの充実のために積極的に単元開発に取り組んでいく勇気を与えてくれる、そんな講座となりました。



講演中の 市川 力 校長先生

刈羽村教育長、小林志郎様を講師にお迎えしてのこの講座では、事務職員として、というより学校職員としての生き方を含む、様々な要素に触れることができる内容でした。従前と異なる、教育を見る4つの視点や人間力アップ、あるいは職務遂行の原則など、事務職員ならずとも全ての社会人に通じる研修内容でした。参加者の感想の中には「仕事も人間関係もバランスが大切、ちょっとした心遣いが人間関係を円滑にする」「自分らしさを大切にし、事務職員としての役割を果たす」「校長職への理解を深め、組織マネジメントのお手伝いができるよう人間力の向上に努めたい」など、今後の資質向上に直結するようなコメントがたくさんありました。



講演中の刈羽村教育長 小林志郎様

「いざ！」という時のために、万全の備えを。それも教師の使命

8/6(月)8(水)AED実技講習

柏崎消防署救急係の職員を講師にお招きしての講座では、呼吸停止という、絶対にあってはならないことにもかかわらず、ひとたび事態が起これば迅速かつ正確な動きが要求される「呼吸停止」への対応についてでした。

救急法は毎年少しずつ改善が図られていて、今回も、異物除去法のやり方が、よりスピーディーにできるよう工夫されていました。3年に一度は講習を受けていただき、万が一の事態にも万全の備えで対応できる教職員でありたいと思いました。参加者の感想には「きちんと技能を取得できて自信ができました」「やってみることが大切だと感じました。実際には使う場面はないことを願っていますが、備えている、というよりどこがあるので安心です」等が多くあり、講習の目的を達成していたことがわかります。



講師の柏崎消防署救急係の職員



教育センター設置のAEDを確認

波乱の時代を追って…テーマ「柏崎の戊辰戦争」

8/7(火)市内文化財巡り

柏崎ふるさと人物館の元館長、桑山省吾様を講師にお招きしてのこの講座では、市内における戊辰戦争をテーマに、私たちの住む柏崎市の歴史について学びました。従来の文化財巡りは方面ごとに文化財を訪問するスタイルで好評を得ていましたが、一通り各方面を巡回し終わったことや、一つのテーマを時系列で追ってみることで、より一層、学びが深まるのではないかと、という要望もあり、テーマ性を重視してみました。

当日は、まず人物館で桑山さんから1時間、講義をいただき当時の時代背景を理解しました。その後、鯨波の合戦場～大砲のレプリカのある柏崎市立博物館～戦死者のお墓のある勝願寺～官軍（新政府軍）の本部となった妙行寺～野戦病院になった聞光寺～共同墓地である招魂所を訪れました。最後に再びふるさと人物館にてまとめを行い、地域の歴史を感じるロマンティックな一日が終わりました。



戦争で使われた大砲のレプリカ



戊辰戦争でなくなった方々の墓石前（勝願寺）

様々な学習スタイルをもつ子ども…。一斉授業では聴覚からの入力や視点の移動が苦手な子もいます。そんな中、場面によってはデジタル教科書の機能を活用し、一斉授業でどの子も理解できるようにする義務が私たちにはありますし、実際、事例についてもっと検討したい、という要望もありました。そこで、今回は基調提案的に英語と国語の2事例、活用アイデアとして英語の6事例と理科の1事例を学び合いました。9月以降の授業で、積極的にデジタル教科書を活用していくことができるよう、環境整備も含め取り組んでいきましょう。以下、当日の内容を紹介します。

実践紹介1：講師 第一中学校 千原健志先生（英語）

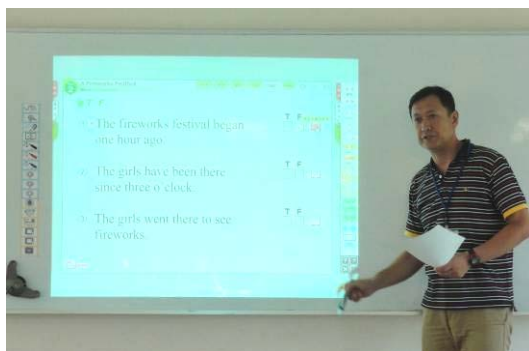
「私のデジタル教科書活用実践」

千原先生からは、最初に「まず、動かしてみよう！」というタイトルで、目次に注目しながら実際に提示していただきました。目次はわかりやすく工夫されており、Speaking Plus、Listening Plus、Movie、Flash Card、Picture Cardなどが視覚的に選択できること、それぞれ、どんな場面で使えるのか、使うとしたら設定はどうするか、などについて詳しく教えていただきました。

続いて、各ユニットでの活用パターンについて、本文、語句、基本文、基本練習、Listen & Your Turn、内容確認に分けながら実演、初心者の方のほとんどの参加者が「なるほど、こんな風にやっただけでいいんだ！」という勇気をもらえるような説明でした。

さらに、ツールの紹介として、ペン、文字入力、スタンプ、めくり紙、MY教科書エディター、ワークシート、授業プリント、拡大機能等のやり方にも触れながら、“ちょっと便利な機能”としてイントネーション、スラッシュ表示、日本語訳機能についても説明がありました。

圧巻は、「おまけの紹介」。自身がプレゼンテーションソフトで自作した、一般動詞の構造、後置修飾、基本表現確認のスライドを紹介、活用の実際に触れることができました。



実践紹介2：南中学校 山本直恵先生（国語：事前に参考資料としていただきました）

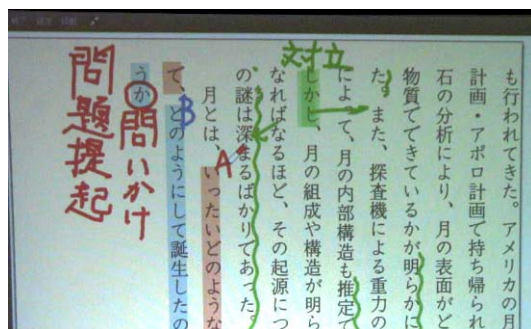
「デジタル教科書での支援を指導案に明記しての授業実践例」

山本直恵先生は、校内研修授業の一つとして下記のように指導案上の手立て（下表★印等）にデジタル教科書の活用を明記しています。また、生徒が使ったり、教科書の拡大表示に教師が書き込みをしたりして、どの子にとってもわかりやすい授業になるよう工夫しています。

一人一実践 改訂版（山本）2012. 5. 25 2時間目実施 3年1組			
4 本時の展開 本時 4/5			
(1) 本時のねらい デジタル教科書のさまざまな機能を用いて説明文を丁寧に読み取ることにより、筆者の論理展開がわかるようになる。			
(2) 本時の展開			
	○学習活動 発問 ■生徒の反応	★授業で使う手立て ◇評価（方法）	
導入 (5)	○問題提起B「月はどうやって誕生したのだろうか」を確認する。	★デジタル教科書の本文ビューを見せる。	
展開1 (30)	「巨大衝突説」を筆者はどのように説明しているのかを確認しよう	★デジタル教科書の映像資料を見せる。	
	○月の形成の4つの段階を、映像をみながら理解する。	★本文ビューを提示し、透明マーカーで線を引かせる。	
	○筆者の問いかけをさがす。	★筆者の問いかけを黒板に貼る。	
	■文末表現が「～か」などの問いかけになっていることに気がつく。	★筆者の問いかけを黒板に貼る。	
展開2 (30)	○問いかけの答えを探す。	「だが、そもそも、このように巨大な天体が地球に衝突することはありえるのだろうか。」	
	■「つまり」ということばがあるので、ここが答えだな。	★筆者の答えを黒板に貼る。	
	○答えの部分に線を引く、発表する。	「つまり、地球が形成される最終段階においては、巨大衝突は自然に起きるものと考えられているのだ。」	
	◇問題提起とその答えを見つけている（教科書）	★本文ビューを提示し、透明マーカーで線を引かせる。	
展開3 (30)	コンピュータシミュレーションの検証過程を理解しよう	★デジタル教科書の映像資料を見せる。	
	■しかし、まずは、また、次などの言葉で検証の2段階を説明しているな。		
	○「実験の結果」筆者らの実験により」がガイドの役割を果たしていることを理解する。		
	○コンピュータシミュレーションの映像を見ながら、内容を確認する。		



デジタル教科書で自分の考えを発表する生徒

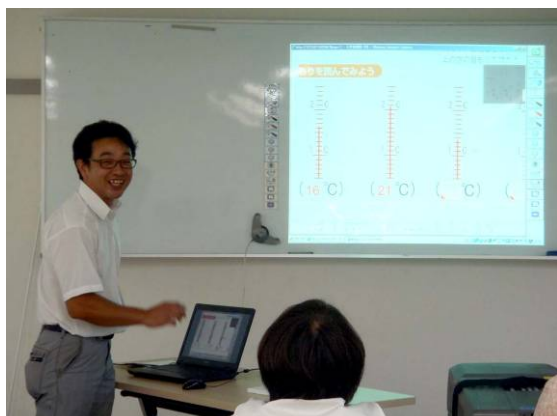


拡大表示に教師が書き込みをしている例

◆デジタル教科書を使った模擬授業の一コマから ～こんな使い方があります！～

拡大した温度計で、温度の読み取りをわかりやすく説明！

荒浜小学校 油谷 桂土 先生（理科）



油谷先生の模擬授業では一般的にアルコール温度計の赤い示線の読み方の場面では、目盛りが細かい等の理由でいつも苦勞する時があります。そんな時は、拡大した目盛りを黒板か自作の紙に描く等して対応してきました。デジタル教科書では、温度計の部分をクリックいっぱい拡大できる上、数値は付箋で隠しておくこともできるので、対話を通して読み方の学習がスムーズにできました。手元の教科書だけだと答えも書いてあり、いわゆる「出来レース」感は否めませんが、一部を拡大提示することで、子どもたちの疑問として取り上げ、考えていくことが可能になります。

流れるようなNEW WORDSの提示に生徒役の人たちからため息が…

南中学校 箕輪 しのぶ 先生



次から次へと、再生される英単語を、生徒役の人たちが発音していきました。再生はオートで行われるため、箕輪しのぶ先生はその間、机間指導を行い、自信がなさそうな生徒たちへの支援を行う動きも織り交ぜていました。こんな形でも個別の支援が可能になりますね。千原先生からは、「読ませたい単語を選択したり、音声を消して視覚だけで単語を提示することも簡単にできますよ」というアドバイスがありました。もちろん自分の操作で一語ずつの提示も可能です。なお、南中では空き教室にプロジェクターやスクリーン等を常設、移動教室型でいつでもデジタル教科書を使える環境を実現しています。

上野先生は技師！集中させたい部分を少しずつはがしていくと…

鏡が沖中学校 上野 直美 先生



スラッシュリーディングでの活用を試した上野直美先生は、一つの単語のスペルを少しずつはがしていくやり方で、生徒役の人たちの意識を思いのほか、高めることに成功していました。また、自分で「まず、こうして、次にこうやって…」と、確認しながら進めていました。子どものためにいい授業を創っていこう！という意識が自然に伝わってきていました。

学校教育課の山本指導主事からは、「集中して取り上げたい部分に確実に、しかも一斉に目を向けさせることができますね」というコメントをもらいました。

ムービーは手軽でとっても効果的よ！ 石井先生は語る

第一中学校 石井 真奈美 先生

英語を学ぶ目的の一つに「外国の文化に触れる」というものがあります。従来も先生方の経験談や印象的なVTRを用いてきたわけですが、デジタル教科書にはコンパクトにまとまった動画があります。石井真奈美先生はこの動画を用い、自在に停止して「この女性はどこの国の人かな？」等と問いかけながら、教科の学びと外国の文化をつなげようとしていました。千原先生や山本指導主事からは、「提供したい情報を簡単に提示できている」というアドバイスもあり、動画の活用のメリットに触れていました。



リーディングこそ、デジタル教科書で！

松浜中学校 石黒 久美子 先生

石黒久美子先生の活用例は、一通り英訳も終わった後に、英文中の単語を部分的に隠していきながら、「こういう訳の場合なら、ここにはどんな単語が入る？」という問いかけ形式での授業を行いました。「…そうだね、ここは have to だね」と確認して、また、隠すなど、何度もやり直しができます。もし、これを黒板でやるとすると、消したり書いたりする作業となります。

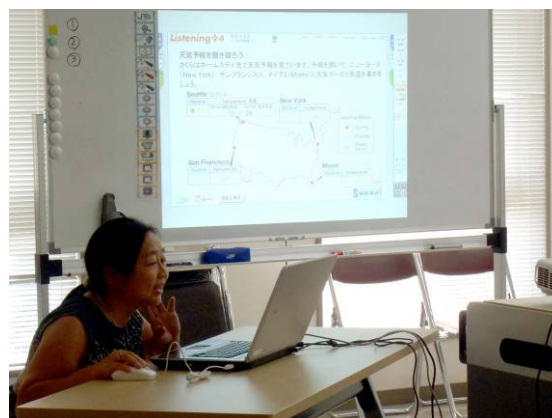
千原先生や山本指導主事からは、「本文中の任意の英文と和訳を自由自在に提示したり隠したりできるので、実態に即して授業を進めることができる」というコメントをもらいました。



リスニング力の限界にチャレンジ！ 生徒の能力を引き出す方法として。

第三中学校 田村 聡子 先生

田村聡子先生は、英文で読み上げられる各地の天気予報を、速度の速いパターンから提示する、というチャレンジングな方法をとりました。通常、ゆっくりのパターンから、と思いがちです。しかし、デジタル教科書の機能を用い、このような提示を試みることで、生徒たちの集中度ははじめてから高まります。その際、教科書を拡大提示してあるスクリーンに視線を向けるようにすれば、さらに集中度を高めることができます。千原先生や山本指導主事からは、「デジタル教科書を提示し、全体の視線を一点に集めることは実質的な open your text book であり、テンポのよい授業が実現できる」とアドバイスをいただきました。



■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

講習会のテキスト、資料を登録しました

◆ 柏崎市教育情報支援システム／講習会テキスト

実施日	講座名／資料名
7/13	119_保健統計 保健統計.pdf (テキスト第 8 版)
7/19	117_ホームページ作成入門 ホームページ作成入門_with おたより機能.pdf (テキスト第 8.1 版)
7/25	120_Word 入門 Word2010 入門.pdf (テキスト第 1 版) Word 入門演習用例題.docx
7/25	121_Word 活用1 Word2010 活用 1 .pdf (テキスト第 1 版) Word 活用 1 演習用例題.docx
7/26	135_画像編集入門(GIMP) 画像編集入門.pdf (テキスト第 1 版) 画像編集基礎.pdf (基礎知識編テキスト第 5 版) 出力サイズ別必要画素数.pdf
7/27	126_Excel 入門 Excel2010 入門.pdf (テキスト第 1 版) Excel 入門例題.xlsx
7/27	127_Excel 活用1 Excel2010 活用 1 .pdf (テキスト第 1 版) Excel 活用 1 例題.xlsx
7/30	122_Word 活用2 Word2010 活用 2 .pdf (テキスト第 1 版) Word 活用 2 演習用例題.docx
7/30	123_Word 活用3 Word2010 活用 3 .pdf (テキスト第 1 版) 差し込み文書例.docx、受講者名簿.xlsx、住所録.xlsx
7/31	128_Excel 活用2 Excel2010 活用 2 .pdf (テキスト第 1 版) Excel 活用 2 例題.xlsx Excel 活用 2 串刺し計算例題.xlsx
7/31	129_Excel 活用3 Excel2010 活用 3 .pdf (テキスト第 1 版) Excel 活用 3 例題.xlsx
8/2	133_PowerPoint 入門 PowerPoint2010 入門.pdf (テキスト第 1 版) サンプルプレゼンテーション.pptx
8/3	134_PowerPoint 活用1 PowerPoint2010 活用 1 .pdf (テキスト第 1 版)
8/7	113_情報モラル指導のための教材研究 情報モラル指導のための教材研究_説明用.pptx (説明用プレゼン) 模擬授業用プレゼン.pptx (模擬授業で使ったプレゼン)

■ 情報関連講習会のご案内

9 月に実施される講習会

◆H24.09.13(木) Word 活用4(スタイルとテンプレートの機能)

段落の書式設定をスタイルとして登録し、素早く文書全体の書式を設定する手順、ページ設定やスタイルをひな形として保存しておき、効率よく文書を作成する手順を学習します。Word2010 で実施します。

◆H24.09.26(水) Word 活用5(オートシェイプによる様々な図の作成)

オートシェイプの機能を使って、グラントデザイン、地図、算数・数学の図形などを効率よく作成する手順を学習します。Word2010 で実施しますが、Excel や PowerPoint でも同様に活用できる内容です。

◆H24.09.28(金) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その4

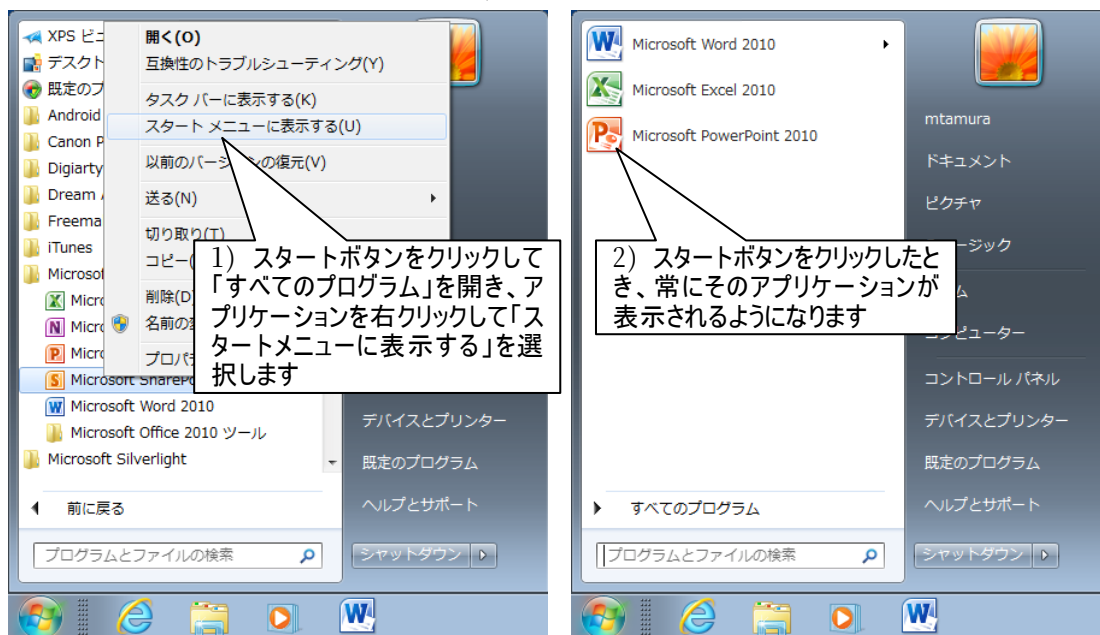
ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡ください。

■ 校務 PC 情報

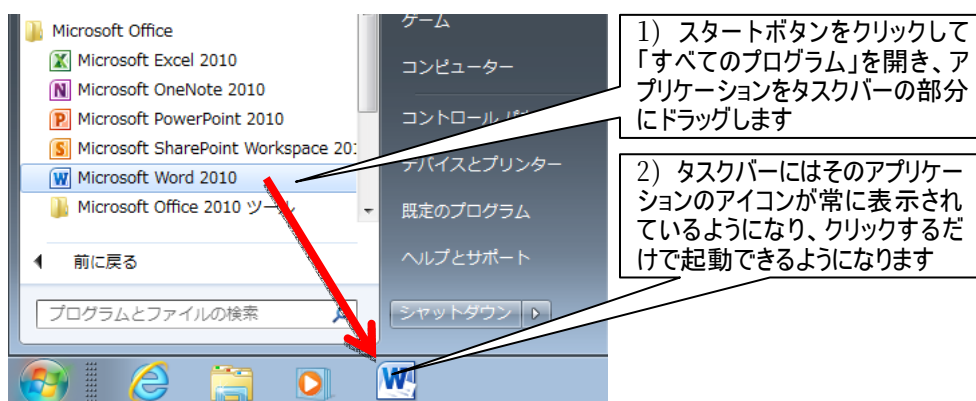
Windows7 の TIPS

1. スタートメニューをカスタマイズ

①スタートメニューにアプリケーションを追加する



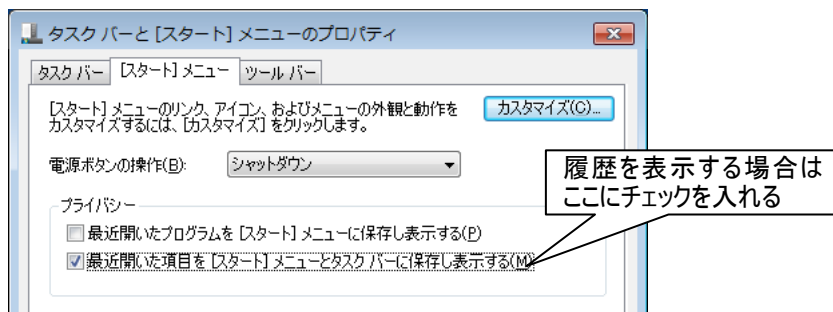
②タスクバーにアプリケーションを追加する



2. タスクバーをカスタマイズ

Windows7 のタスクバーは、「ランチャー」(アプリケーションを素早く起動する)としての機能、「タスク切替」(開いているウインドウを切り替える)としての機能、「履歴やお気に入り」としての機能を持っています。

①タスクバーで履歴の機能を使用するには、タスクバーで右クリックして「プロパティ」を選択して設定を変更する必要があります。



②タスクバーの履歴やピン止め(いつも表示する)を活用



■ セキュリティ情報

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、8月15日付で8月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が5件、「重要」が4件です。まだUpdateが済んでいないようでしたら、至急Windows Updateなどを実施していただくようお願いします。

プロジェクト K

柏崎刈羽地区科学技術教育センターだより

研修会・事業の様子

○ 宿泊野外研修『立山～弥陀ヶ原・室堂・浄土山～』（7月28日～29日実施）

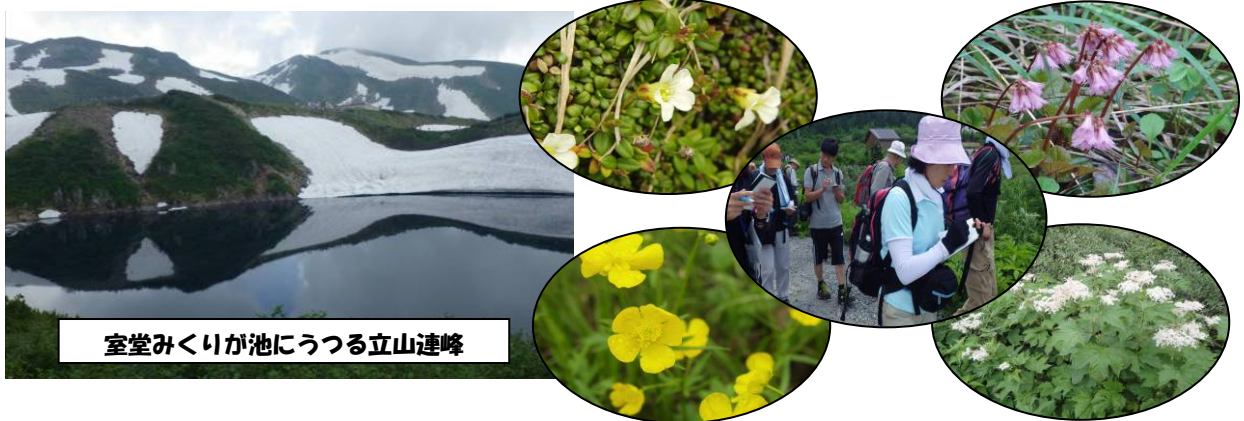
◇内 容

今年度は立山に行ってきました。1日目は弥陀ヶ原、室堂周辺を散策し、2日目は室堂から一の越、浄土山までの植物を観察しました。講師の品田やよい先生とともに今年も植物研究グループの先生方に来ていただき、多くの高山植物の名前や特徴を教えてくださいました。チングルマや、ツガザクラ、ゴゼンタチバナなど可憐な花々にうつとりし、雄大な立山連峰の景色に圧倒された2日間でした。



無事 27 名全員登頂！浄土山 2831 m

例年より雪解けが遅く残雪はあったものの、全行程天気にも恵まれ、充実した研修を行うことができました。参加者の方々からもおおむね満足の評価をいただきました。早速、来年も参加する意欲をみせてくださる方もいました。来年度もより多くの方からのご参加をお待ちしています。



室堂みくりが池にうつる立山連峰

○ 小学校『流れる水のはたらき』（8月3日実施）

◇講 師 学校教育課 品田 やよい 様

◇内 容

柏崎市内を流れる鯖石川を教材として使う場合、どの地点が有効かを現地に出向いて研修しました。バスの駐車場やトイレ、児童が観察するスペースなども考慮した上での地点を紹介していただきました。猛暑の中での研修ではありましたが、地域の素材を活用するための良い研修となりました。



○ 小学校 『放射線教育研修会』（8月8日実施）

◇会 場 原子力広報センター

◇内 容

今年度、各小中学校に配布された副読本を活用するため、当センターで作成したプレゼンテーションを模擬授業形式で紹介しました。また、放射線を測定する機器や、放射線の飛跡を観察できる霧箱も紹介しました。子どもたちが放射線の正しい知識を身につけ、いざというとき適切に対処するには、各学校で授業を実践していくことが必要です。今回、柏刈地区全小学校へ資料を配布しましたので、必要に応じて活用してください。また、器具の貸出や要請等ありましたら、センターまでお気軽に声をかけてください。



<内容データ>

- 柏崎バージョン高学年前半
- 柏崎バージョン高学年後半
- 柏崎バージョン低学年前半
(配慮児童あり・なし)
- 柏崎バージョン低学年後半



○ 環境教育実践プログラム(8月10日実施)

◇場 所 夢の森公園

◇講 師 遠藤 亮 様

(夢の森公園スタッフ)

◇内 容

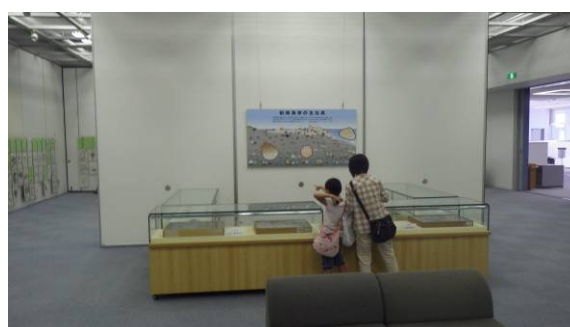
公園スタッフによって開発された環境教育プログラムのいくつかを紹介・体験しながら施設見学を行いました。静寂の中で森を散策する体験や、自然との共生をコンセプトにした施設見学などを通し、学校現場でどのように活用できるかを考える研修となりました。

プログラムの中には中学生や大人向けのもの、また、公園外での活動を取り入れたものもあり、小中学校のさまざまな場面で活用できそうです。利用経験のない方は一度足を運んでみるか、ホームページ(<http://www.yumenomori-park.jp>)などで調べてみてはいかがでしょうか。



○ 参考作品展の開催(8月8日～18日)

夏休み中の科学研究の一助としてソフィアセンターで参考作品展を開催しました。会場には植物・海藻・貝・昆虫の標本や顕微鏡スケッチなどを展示しました。夏休みということもあり、多くの方が来場しました。夏休み明け、子どもたちの科学研究の成果が楽しみです。



備品紹介

中学校理科教科書・指導書5社分せいぞろい！

このたび、CST養成拠点校の上越教育大学から下記の教科書出版会社5社分の**教科書・指導書**をいただきました。現在、各学校で使用している教科書以外の出版社のものも、よりよい授業を考えていく上で参考になることと思います。他の物品同様貸し出しますので、遠慮なくお問い合わせください。



〔東京書籍〕



〔学校図書〕



〔大日本図書〕



〔啓林館〕



〔教育出版〕

サーモカメラ

上記同様、CST養成事業の一環として上越教育大学備品のサーモショットカメラを借用しています。借用ではありますが、保管先は当センターであり、各学校への貸出も可とのこと。高額ですので、取扱いには十分注意していただきながら、活用してもらいたいと思います。下の写真のように、普通の写真とサーモ写真がセットで撮れます。

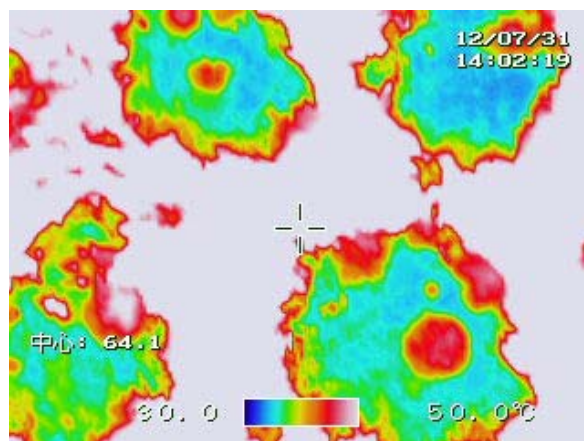


なお、小4『もののあたたまりかた』の研修（11／30開催予定）で、具体的な使い方を紹介する予定です。

花壇に植えたマリーゴールド



サーモ撮影にすると・・・





9月の予定



○第47回柏崎刈羽地区児童生徒科学作品展

◇日 時 9月8日(土)～19日(水) 9:00～17:00
(ただし、月曜日は休館日)

◇会場 市立博物館

児童生徒が夏休み中に取り組んだ力作が勢ぞろいします。ぜひ多くの方からのご来場をお願いします。なお、優秀作品の表彰は9月21日(金)16:00から行います。

科学作品展 科学研究発表会について

夏休み明けで多忙な時期とは思いますが、より多くの児童生徒が出品・発表ができますように、計画的なご準備をお願いします。

第47回柏崎刈羽地区児童生徒科学作品展

申し込み締め切り・・・9月3日(月)

申込書に必要事項を記入し、メールで教育センター科学まで
(kagaku@kenet.ed.jp)

作品搬入・・・・・・・・・・9月4日(火) 9:00～16:00

5日(水) 9:00～12:00

作品搬入時に、部門ごとに申込書に職員を押印したものを持参する。

作品には作品添付票、レポートをつける。

☆搬入場所は市立博物館・特別展示室です。

第47回柏崎刈羽地区科学研究発表会

申し込み締め切り・・・・・・・・9月14日(金)

申込書に必要事項を記入し、メールで教育センター科学まで
(kagaku@kenet.ed.jp)

9月19日(水)

申込書に職印を押し、教育センターへ提出。

研究概要締め切り・・・・・・・・9月19日(水)

様式2 A4版表裏印刷1～2枚150枚

☆PCを使って発表する場合、データをCD-Rに保存し、教育センターへ9月25日(火)までに提出してください。

※デジタルデータは、ウイルスチェックを必ず行うようお願いします。

パワーポイントを使用する場合はPowerPoint2003で保存してください。

心の窓

No.156

☆☆☆☆☆ ふれあいルームより ☆☆☆☆☆

上教大大学院実習生との出会い

6月25日から約1か月間にわたって、上越教育大学大学院で臨床心理を学ぶ学生さんが実習に来て、ふれあいルームの通級生と共に過ごしました。実習生は子どもたちにとって歳の近い先生ということもあり、普段の活動では見ることでできない子どもたちの表情も見ることができました。

7月20日のお別れ会では、一人一人がお別れの言葉を贈り、とても名残惜しそうにしていました。子どもたちにとっても実習生にとっても、きっと良い出会いだったに違いありません。



夏野菜カレー！！

夏野菜の収穫が真っ盛りです。トマトやキュウリ、ナス、ピーマン。虫やカラス、野生動物などの襲撃から奇跡的に助かった野菜が次々に実りだしました。収穫もカラスとの追いかっけこです。少しでも取るのが遅れると、先を越されて食べられてしまいます。

夏休み初日の7月24日、高田コミセンの調理室をお借りして、みんなで収穫した野菜を使った夏野菜カレーをつくりました。苦手な野菜がある子も小さく刻んでちゃんと食べることができました。地域の方からの差し入れもいただき、野菜をたっぷり美味しくいただきました。



(ふれあいルーム指導員 寺澤 朋法)



教育相談班 9月の予定

《カウンセリングルーム》

※いろいろ体験グループ（SST）保護者会

- 7日（金）16:30～17:30 小学生A・Bグループ
- 14日（金）16:30～17:30 小学生Cグループ
- 20日（木）18:30～20:00 中学生①グループ
- 21日（金）18:30～20:00 中学生②グループ

《ふれあいルーム》

- 14日（金） 柏崎市立博物館見学
- 19日（水） ソフィアセンター



育成センター通信	0836	柏崎市青少年育成センター 〒945-1355 柏崎市大字軽井川4 8 0 3 番地2 TEL 0257-20-7601 FAX 0257-23-4610 E-mail ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp
-----------------	------	---

9月の予定

日	こ と が ら	日 曜	こ と が ら
3~24 (平日)	高校下校時育成 (柏崎駅周辺)	8 土	小中高PTA育成活動 (学番偶数校、7~12班)
		26 水	夜間育成活動 (第二中P、第五中P、11班、12班)

育成座の出前公演



育成座は、青少年健全育成や不審者対応のため、街頭活動で得た事案をスタンツ(寸劇)で演じて市民に啓発するとともに、地域ぐるみの健全育成活動を支援、安全安心のまちづくりに貢献するため、青少年育成委員とそのOB・OGの皆さんによって設立されたボランティア集団です。

現在、中村貞子会長以下22人の会員が活躍しています。

公演予約受付中！

- ◇ 演目 小学生向け「危ない人ってどんな人？」
中・高生向け「それでいいんだかね？」
地域向け「お年よりにできること」 ほか (マナーやいじめ などご希望に応じます)
- ◇ 上演時間は30分程度ですが、ご希望により調整できます。
- ◇ 会場の方からも参加していただき、ステージと会場が一体となって演じます。
- ◇ 出演料はいただきません。
- ◇ 問い合わせ・申し込みは、青少年育成センターまで

子どもたちをケータイラブルから守るために 保護者のできること

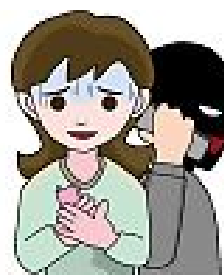
大学のレポートはメールで提出、就活も面接連絡や可否通知はメールで行われるなど、今の子どもたちは、アナログ世代の大人とは全く違った仕組みの中で生きる世代です。



しかし、子どもたちの必需品であるメールやインターネットは、便利だけれども危険もいっぱい待っています。迷惑メールが増殖、個人情報を盗まれる、チェーンメールが止められない、ブログから写真が流出、ブログに中傷を書き込みされる、ネット詐欺にあうなど・・・。

子どもたちが安全な環境でケータイを利用できるように、危険なサイトにアクセスできないように制限をかけるフィルタリングサービスを利用することが重要です。

平成24年4月1日に改正施行された「新潟県青少年健全育成条例」では、携帯電話事業者は、「フィルタリングサービスの内容などの説明を行い、説明書を交付しなければならない」とされ、保護者は、「青少年が使用する携帯電話について、フィルタリングサービスを利用しない場合には、携帯電話事業者にその旨を記載した書面を提出しなければならない」こととされました。



「ちょっと、まった！」

子どもに言われるままに、フィルタリングをはずしていませんか？「うちの子に限って」、「ケータイは子どもの方が詳しいから」と考えている保護者の無関心は、子どもの安全を守ることを放棄していることになります。



気持ちは分かります。アナログ世代は、こういうこと苦手です。でも、大丈夫。携帯電話事業者に聞けばいいのです。事業者は、フィルタリングサービスについて、やさしく説明してくれますし、説明しなくてはならないと県条例で定められました。

「ちょっと、まった！」

中学生になった娘さんから「友達のブログが見られないからフィルタリングはずして！」と懇願されて安易にフィルタリングOFFしてはいけません。

デジタル社会の子どもたちが、様々なデジタル環境に接することは必要なことですが、子どもの成長に応じて「ゆるめる」ことが大切です。フィルタリングは、「ON」「OF」の他に細かな設定ができる「調整」もできるのです。

災害時には、緊急情報や避難情報など身を守る情報を得たり、安否を発進したりする手段としても、デジタル機器は必要不可欠となってきました。

携帯電話事業者各社は、ケータイ安全教室などを無料で出張開催していますので、地域で活用してみてはいかがでしょうか。

9月の行事予定表

日	曜	研修・行事・会議
1	土	
2	日	
3	月	相：上教大院生臨床実習(～9/28)
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	科：柏刈児童生徒科学作品展審査会(博物館) 相：SST小A/B保護者会(学習室)15:00～
8	土	科：柏刈児童生徒科学作品展(博物館)～19日まで
9	日	
10	月	相：班会議13:00
11	火	研：特別支援教育を基盤とした授業づくりと学級経営Ⅱ
12	水	研：不登校の要因と対応
13	木	情：Word活用4
14	金	相：SST小C保護者会(学習室)15:00～ ふ：市立博物館見学9:00～
15	土	
16	日	
17	月	敬老の日
18	火	
19	水	ふ：ソフィアセンター10:00～
20	木	相：SST中①保護者会(学習室)15:00～
21	金	研：スクールサポート事例研修会Ⅰ、武道指導技術講習Ⅰ(武道館) 科：科学作品展表彰式(博物館) 相：SST中②保護者会15:00～
22	土	秋分の日
23	日	
24	月	
25	火	研：防災教育を通じて考える地域づくり(新潟産業大講堂14:00)
26	水	研：同和教育巡回講座(市民プラザ 13:20) 研：武道指導技術講習Ⅱ(武道館) 情：Word活用5
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	



待 つ

教育相談班相談員 春川 稔

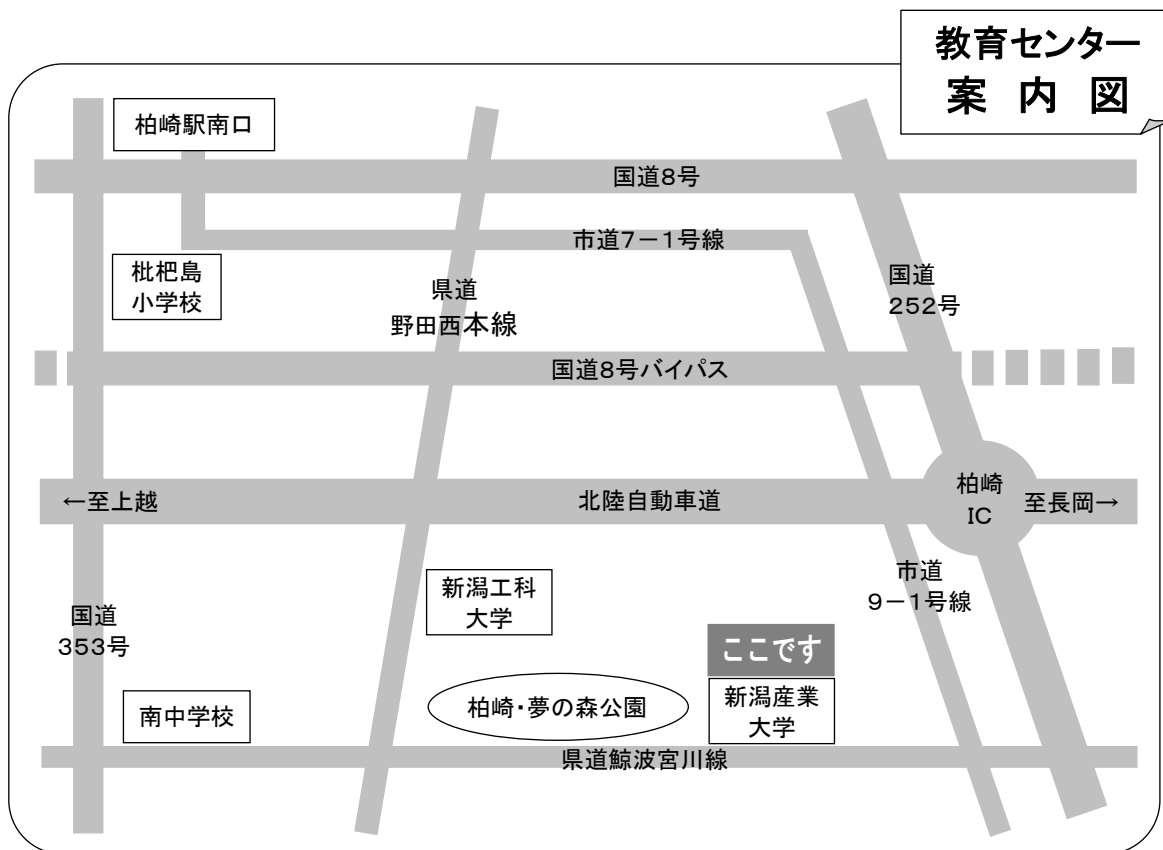
私事ですが、今、娘が孫娘と一緒に我が家に来ています。家族が増え大変楽しく賑やかになるとともに、孫から笑いと安らぎをもらっています。

ところで、娘の母親ぶりを見ていて感じたことがあります。それは、「早く」という言葉をほとんど使わないことです。娘は、「早く」の代わりに「待つ」ことをします。何か動作をするときは、少しのろくてもせかさず、話す時は話し終わるまで聞くという具合です。実際待つのは、イライラしますし、つい手を出したくなります。たどたどしい話は遮りたくなります。でも、考えてみますと、早くとせかさないうで、自分の力で頑張れるだけ頑張るということは、自信や満足感に繋がり、子どもにとってとても大切なことだと思います。

孫が通っている保育園の登園の様子を見ていますと、早くとせかす人は誰一人いません。子どものスピードに合わせ大人が歩いています。子どもたちも満足した顔で登園しています。

自分の子育てのことはもうよく覚えていませんが、「親が30分早く起きる」と頑張ったことは忘れられません。親が子どもに合わせ、「待つ」ゆとりをつくらうとしました。

昨今は、時間がめまぐるしく過ぎ、忙しさにあおられてしまいがちです。しかし、いつの時代も子どもは変わらないと思います。娘の子育てに「待つ」の大切さを改めて感じたこの頃でした。



〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

教科書センター利用案内

柏崎刈羽の小・中学校で使用している教科書のほか、各教科書会社の小・中学校の教科書各2冊、高等学校の教科書各1冊を備え付けています。どなたでも閲覧することができるほか、小・中学校の教科書は、閲覧だけではなく貸出も行っています。各教科書会社の学習内容の取り扱いの比較、授業研究のための教材研究などに役立ててはいかがでしょうか。

教育センター代表TEL:0257-23-4591

代表FAX:0257-23-4610

E-mail:k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育研究班・情報教育TEL:0257-23-1168

E-mail:kec@kenet.ed.jp

教育研究班(科学技術教育)TEL:0257-20-0212

E-mail:kagaku@kenet.ed.jp

教育相談班(カウンセリングルーム)TEL:0257-32-3397

E-mail:soudan@kenet.ed.jp

教育相談班(電話相談)TEL:0257-22-4115

青少年育成センターTEL:0257-20-7601

E-mail:ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育情報支援システム URL:http://kedu.kenet.ed.jp

平成24年8月発行